

平成 30 年度 第 1 回 政策決定会議 会議録②

-
- ◆開催日時:平成 30 年4月 24 日(火) 11:40~12:05
 - ◆開催場所:市長公室
 - ◆出席委員:永野市長、小山副市長、土佐副市長、樋口教育長
-

◆審議事項

- ・岸和田競輪場施設整備計画について……………公営競技事業所⇒承認
-

◆審議概要

『岸和田競輪場施設整備計画について』

〈説明者〉福井公営競技事業所長、船橋公営競技事業所次長、岸田担当主幹

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件原案のとおり承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり説明。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 競輪参加選手やお客様の安全性の確保などから整備の緊急性が高く、整備を行わなければ、特別競輪の誘致にも影響するため、緊急性の高いものを第1期計画として整備を行うことを確認。
- ② ワールドマスターズが2021年に行われる予定であり、現在BMXコースは国際基準を満たしていないが、第1期計画の整備を行うと参加選手に選手管理棟を提供でき、観覧席に関する対応も検討しやすいことから、現状のままで行うことを確認。オリンピックのキャンプ地の誘致に関しても行う予定であることを確認。
- ③ 2018年度から2021年度にかけて約36億6千万円規模の施設整備事業費が必要になるが、資金調達については、起債と基金からの繰入で賄うことを確認。
- ④ 第2期計画(最終計画)に関しては近々に行う予定ではないが、第1期工事が完了し、収益や財政状況を勘案しながら計画していくことを確認。ただし、公園整備に関しては、最終計画を意識した上で第1期の整備を確認。

◎説明後、質疑応答

〈市長〉(2036年度までの売上の試算について)相当厳しい試算をしているという認識でよいか。

〈公営競技事業所次長〉そうである。

〈市長〉市民にも理解していただくために今回作成した資料を競輪場建替関係資料として、ホームページに掲載してみてもどうか。

〈土佐副市長〉今回の資料に、整備にかかる各種データや簡単なQ&Aのようなものをつけ、もう少しコンパクトにまとめた資料を掲載してみてもどうか。

〈公営競技事業所次長〉検討したい。

〈市 長〉パス(完成予想図)のようなものはないか。

〈公営競技事業所長〉庁内にそのような作成ソフトがなかったため断念した次第である。

〈市 長〉それであれば、パスの代わりになるようなわかりやすい資料を工夫し、作成するよう検討していただきたい。

〈公営競技事業所次長〉承知した。

〈土佐副市長〉本案件について、原案のとおり承認してよいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

平成 30 年4月 13 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 公営競技事業所長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田競輪場施設整備計画について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	付議事項について、庁内プロジェクトチームで策定した素案を附属機関として設置した「岸和田競輪場施設整備計画検討委員会」で調査・審議の結果、概ね承認の報告書が提出されたため、付議事項についての市の意思決定を図りたい。
説明者	船橋 次長 岸田 施設管理担当主幹 乙井 主査
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	平成30年度 第1回会議
付議事項	岸和田競輪場施設整備計画について

★取組の目的

対象	岸和田競輪場
どのような状態を目指す	お客様や競輪関係者の安全性を確保するとともに、円滑に競輪開催ができることを目指す。 また、公園や緑地の整備により、市民が集える空間形成を目指す。

★総合計画上の位置付け

202020102	基本目標	Ⅱ-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)持続可能な財政運営が行われている
	目指す成果	②自主財源が安定的に確保されている
	行政の役割	イ 公営競技事業を健全に運営する

★現状と課題

バンク(競走路)は平成3年に大規模改修し、26年が経過。耐用年数10年を大幅に経過しており、競走における安全性が確保できない状態である。バンクを取り巻くサイドスタンドや選手管理棟等においては、昭和30年代、40年代の建築物がほとんどでお客様、競輪関係者の安全性が確保できない。空調やトイレといった設備も建築物同様、経年劣化が認められる。このような状態では、競輪開催自体が危ぶまれる可能性があり、競輪事業の継続が困難であるため、抜本的な改修等が必要不可欠である。

また、現在のメインスタンド観覧席においては、年配者、家族連れ、女性等のニーズに対応できていないため、集客力が乏しく、集客力向上のためには、観覧席の改修や衛生面の改善が必要である。

そして、現状、競輪場施設内には公園があるものの、利便性が悪く利用者が少ないため、より市民が利用しやすい動線の確保や公園整備を行い、市民貢献に努める必要がある。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
施設整備に係る設計委託及び工事費(H30予算額は補正計上予定)			6,480	1,347,720	1,504,140	802,340		
財源内訳	国費			7,200	12,600			
	府費							
	起債				1,340,500	1,491,400	555,900	
	一般財源							
	その他			6,480	20	140	246,440	
事業費			計	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			3,654,200	1,347,720	1,504,140	802,340	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
					H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
① 施設整備による経費削減見込額							2,670	3,858	3,858
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。